







時限

# 「認識するとはどういうことか？」

## 第7回講義

(2008年11月20日)

§ 6 心身問題

### 先週の話題

- 「観念論か実在論か」



## 1. 「観念論か实在論か」から 「心身問題」へ

- 問題の逆転
- 「観念論か实在論か」という問題では、「対象の知覚像の背後に物自体が实在するかどうか」が問題であった。
- 「心身問題」では、物が存在することは前提されていて、「心は物と同一であるのかどうか、もし異なるとすればそれはどのように存在するのか」が問われている。
- つまり、問題は、逆になっているといえるだろう。

### ■ なぜこのような逆転が生じたのだろうか。

- 心の哲学は、分析哲学から生まれしてきたものである。分析哲学は、ラッセルやムーアの観念論批判から生まれってきたので、分析哲学では实在論が一般的である。
- 心の哲学は、認知科学や脳科学やコンピュータ科学の進歩によって始まった議論である。これらにおいて、それらの科学が扱う対象の实在が前提になっている。

## 2、心身問題に関する立場の整理

- 参考文献
- Philosophy of Mind (Wikipedia)
- ジョン・サール著『心の哲学Mind』朝日出版社



### <一元論Monism>

1. 観念論Idealism:  
Berkely, Hegel, Bradley, and Royce
2. 唯物論Materialism

## <二元論Dualism>

- 実体二元論substance dualism:  
デカルトDescartes,  
ポパーPopper, エクルズEccles,

- 実体二元論の抱える問題
- 「どうしたら心と身体の因果関係を統合的に説明できるのか？」
- 「実体二元論は、現代の物理学とつじつまが合わないように見える。現代物理学によれば、宇宙に存在する物質/エネルギーの総体は一定である。もし心的エネルギーを認めると、物理学のエネルギー保存法則が誤っていることになる。」

- 性質二元論property dualism:  
= 随伴現象説epiphenomenalism:

ハクスレーThomas Henry Huxley (1825-1895)

物質から心的性質への一方的な因果関係

チャルマーズDavid Chalmers

心は、物質から創発(emerge)するが、しかし、物質には還元できない性質である。

## 唯物論Materialism

### 1. 行動主義Behaviorism

(1) 方法論的行動主義: Methodological Behaviorism:

<心理学は客観的に観察できる行動だけを研究すべきだ>

ワトソンB. Watson(1878-1958)

スキナーB.F. Skinner(1904-1990)

(2) 論理的行動主義Logical Behaviorism:

「ある心的状態を持つということは、ある種の行動への傾向性があるということに過ぎない。

「もしこれこれの条件が満たされたら、しかじかの行動が後に続くだろう。」(78)

ライルG. Ryle, ヘンペルC. Hempel

## 2. (還元主義的)物理主義 Physicalism

### (1) 同一説 identity theory

タイプ-タイプ同一説

トークン-トークン同一説

### (2) 機能主義 functionalism

「心的状態は、ある種の機能を持った状態として定義される。機能は、別の心的状態や行動との因果関係の観点から説明される。」(90)

### (3) コンピュータ機能主義

Computer functionalism (Strong AI)

「心的な状態とは、脳の計算的な状態である。」(93)

## 3. 非還元主義的物理主義

<心は脳過程に還元できない。しかし、心は脳過程と独立に存在しているのではなく、脳過程に付随している(supervene)。>

D.デイヴィッドソン「非法則的一元論」

R.ローティ「非還元的物理主義」

J.サール「生物学的自然主義」など。



### 3、心身問題における中心問題： 「同一説はただしいのか？」

#### 1、クオリア qualia (sg. quale)をどう説明するの か？

クオリアとは   です。

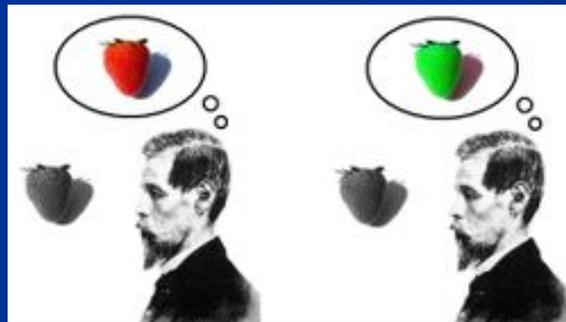
- 同一説＝機能主義への批判：それはクオリアを説明できない。

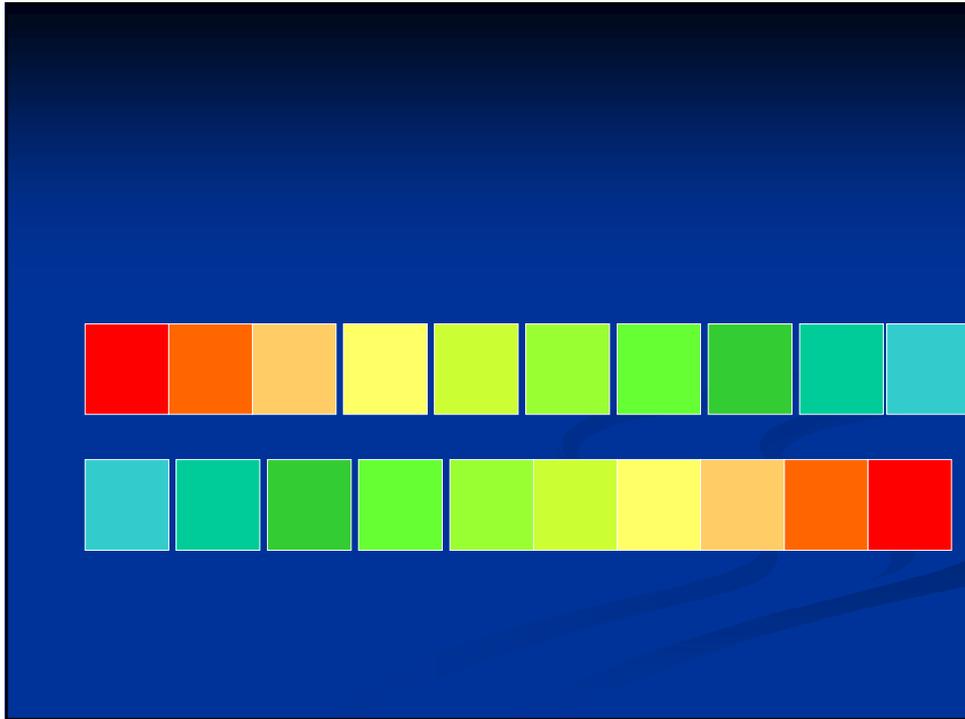
## ＜クオリアに関する思考実験＞

- 逆転スペクトルの思考実験
- トマス・ネーゲル「コウモリであるとはどのようなことか」  
動物学者がコウモリについて知っていること
- フランク・ジャクソン「メアリーが知らなかったこと」  
色盲の神経科学者メアリー
- ジョン・サール「中国語の部屋」  
中国語の記号が入った箱とルールブックをつかって、中国語の質問に回答する。

## 逆転クオリア

- 同等の物理現象に対して、異質のクオリアがともなっている可能性を考える思考実験。同じ波長の光を受け取っている異なる人間が、異なる「赤さ」または「青さ」を経験するパターンがよく議論される。逆転スペクトルとも呼ばれる。





## コウモリであるとはどのようなことか



**コウモリ**はどのように世界を感じているのか。コウモリは口から超音波を発し、その反響音を元に周囲の状態を把握している(**反響定位**)。コウモリは、この反響音をいったい「見える」ようにして感じるのか、それとも「聞こえる」ようにして感じるのか、または全く違った風を感じるのか(ひょっとすると何ひとつ感じていないかも知れない)。こうしてコウモリの感じ方、といった事を問うこと自体は出来るが、しかし結局のところ我々はその答えを知る術は持ってはいない。

## ■フランク・ジャクソン「メアリーが知らなかったこと」

色盲の神経科学者メアリー



## ジョン・サール「中国語の部屋」

中国語の記号が入った箱とルールブックをつかって、中国語の質問に回答する。



## クオリアについての物理主義

- 「クオリアはどのようにして発生するか」この問題には、これまでの自然科学の手法では答えることができない。しかし、これを脳科学で解明しようとする立場もある(茂木健一郎)。

## クオリアはsuperveneする？

- クオリアの存在をもとに、同一説を批判するのは、クオリアを脳過程に付随する(supervene)現象である、と捉えることになる。あるいは、クオリアは脳過程に還元できないと主張することになる。

